

2024.04.21.イエスは私たちのために何をなさるのか

ヨハネの黙示録 1 章 1 5 節から 1 8 節

JD ファラグ牧師

一緒に祈りましょう。主よ、感謝することがたくさんあります。主よ、今朝、あなたの御言葉と、御言葉によって共に過ごすこの時間を心から感謝します。主よ、私たちは「ヨハネの黙示録」を深く学び続けます。私たちに解き明かしてください。私たちの目を大きく開き、あなたをご用意されているものを見れますように。主よ、来たる日のために大切です。ですから、この時を祝福ください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

アーメン、アーメン。おはようございます。ようこそ。ご着席ください。オンラインで参加の皆さんも歓迎します。「ヨハネの黙示録」の節ごとの学びを続けています。今日の箇所は「ヨハネの黙示録」1 章 15 節から 18 節です。座ったばかりなのは知っていますが、再度、可能な方はご起立ください。カトリック教会を思い出しますか？ ごめんなさい。意地悪ですね。— (笑) — 使徒ヨハネは聖霊に導かれ、彼が見たこと、イエス・キリストの幻、イエス・キリストの啓示を描写し続けます。15 節でヨハネはこう続けます。

—ヨハネの黙示録 1 : 1 5—

その足は、(イエスの) 炉で精錬された、光り輝く真鍮のようで、その声は大水のとどろきのようであった。滝を思い浮かべてください。

—ヨハネの黙示録 1 : 1 6—

また、右手に七つの星を持ち、口から鋭い両刃の剣が出ていて、顔は強く照り輝く太陽のようであった。

—ヨハネの黙示録 1 : 1 7—

この方を見たとき、私は死んだ者のように、その足もとに倒れ込んだ。・・・(私もでしょう。)・・・すると、その方は私の上に右手を置いて言われた。「恐れることはない。わたしは初めであり、終わりであり、

—ヨハネの黙示録 1 : 1 8—

生きている者である。わたしは死んだが、見よ、世々限りなく生きている。また、死とよみの鍵を持っている。

すでに鳥肌ものですね？ 読んだだけなのに。わお。祈りましょう。お父様、ありがとうございます。私たちの教師で、導き手で、今日の御言葉であなたをご用意しておられるものに見る目と聞く耳と受け取る心を私たちに与えてくださる聖霊に感謝します。主よ、この御言葉が励ましを必要とする人々への励ましとなるよう祈ります。希望を失っている人々に希望を、落ち込み、弱り、打ちのめされている人々に強さをもたらしてくださいますように。あなたの民の私たちに、あなたの聖なる御言葉によって/通して、聖霊の御力を与えてくださいますように。主よ、私たちに導いてくださいますか？ 私たちに語ってください。私たちがあなたの御声を知っています。それがあなただと、慰めだとわかります。イエスの御名によって祈ります。アーメン、アーメン。

ご着席ください。ありがとうございます。しばらくの間は、再度、立つてはもらいませんから、ちょっとした間は大丈夫です。その前の 12 節から 14 節で、『イエスは私たちにとって誰なのか』を学びました。今日、15 節から 18 節で見ていくのは、『イエスは私たちのために何をなさるか』ここに理由があります。ヨハネは再び、イエスの啓示の描写を続け、イエスから幻として受け取ったことを記述します。そこに自分を置いてみてください。神の御言葉を読んでいる時、時々見失われることで、私たちは皆それをしがちです。私も皆さんと一緒にです。頁(ページ)に書かれたただの言葉だと。聖霊がその言葉にいのちを吹き込み、その言葉がいのちの御言葉として生きるまでは。時に、神の御言葉に息を吹き込むために、、、

「神のことは生きていて、活発で (力があり)、どんな両刃の剣よりも鋭い」からです。(ヘブル 4 : 1 2 参照) これは同じ言い回しで、原文とは異なった言葉で、ヨハネがこのイエスの幻の中で、イエスの口か

ら出たことを説明するために使っています。鋭い両刃の剣です。ですから、頁（ページ）の上の言葉に過ぎません。私たちは皆、読み過ぎがちですけど、そうするのは大きな間違いだと思います。そうするのであれば、自らに危険を招きます。今日、私たちの前のこの箇所の神の御言葉で、神が私たちのためにご意しておられることを見逃してしまうからです。神の御言葉の全ての言葉には、理由があります。聖典全てが神の靈感によるもので、神が息を吹き込まれました。時に、私たちへの指示、方向転換、是正、叱責(私たちは嫌いですね。)のためです。しかし、私たちを教育し導くためでもあります。イスラエルの甘美な詩人ダビデは「詩篇 119 篇」でこう言います。「あなたのみことばは 私の足のともしび 私の道の光です。」(詩篇 119 : 105)「これが道だ。これに歩め。」(イザヤ 30 : 21 参照)これが良いこと。私と聖霊の間のこと、御霊ご自身が、私たちの霊とともに、証ししてくださいます。(ローマ 8 : 16 参照)

そう、この 1 章 15 節から 18 節までは、まったく違った教え方ができたはずですが、そうして欲しいと思う人もいるかもしれませんが、主と共に時間を過ごした後、私はそうしないことにしました。ヨハネが述べていることと、それが私にとって何を意味するのかの、橋渡しをしたかったからです。ある人が大變的確に言ったように、知識は単なる情報で、知恵とはその情報を適応すること。私はここに立って、今日、私たちの前にある聖句について、たぶん踏ん返り返った態度で、説明し、論述することができますでしょう。そうなるかどうかというと、あなたは、、、やり過ぎですか？ 私にとってはやり過ぎかも。OK。戻しましょう。問題は、あなたがこう言って、その場から立ち去ること。「わお、大變参考になりました。」しかし、あなたを感動させず、あなたに届かず、導きません。素晴らしい説明で、

「おお、あなたのご講釈ですね、牧師さん。最高です。」あなたがどんな言葉を使おうと、私は「最高」を使います。で、私は家に帰り人生と直面する。「黙示録」1 章 15 節から 18 節は、私が家に帰って、どうやって、何に適応するのか？ 放蕩息子に、我儘娘。愛する人の病に。あるいは、さらに悪いのは、最近の愛する人の死に。イエスのその足は、炉で精錬された、光り輝く真鍮のようで、口から鋭い両刃の剣が出ていて、OK。イエーイ！ おお、ここで私が言おうとしていることを誤解しないでください。無愛想とか、失礼とかのつもりはありません。ここで、非常に強力な深い真理を伝えようとしているだけです。この聖句は、こんにちの私たちのためにイエスがヨハネに書かせられた記述です。それは今日ここにいる私たちにも、あなたの人生にも、私の人生にも当てはまり、自分と一緒に持ち帰れる何かであり、私たちの人生で経験している試練、置かれている状況、不可能な環境に聖霊の御力によって適応する過程が始まるのです。私は何かを得ました。神の御言葉は生きていて、私の人生で活気づくから。私は何かを手に入れ、理解し、それを使うことができる。それが私がしようとしていることです。これが前置きです。いいですか？

「牧師さん、それほど時間をかけなくても、同じことが言えたかもしれませんね。」賜物ですから。ー (笑)ー そのひとつひとつの詳細が、私たちにとって、深い意味を持ち、イエスが私たちにとって誰で、(先週話しました。)イエスが私たちのために何をなさるのかに関係します。それが、今週です。準備はいいですか？ 1 つ目がある 15 節から、

1. イエスは私に力を与えてくださる。

ここでヨハネは、イエスの幻と啓示の説明を続けます。先週話しましたが、

ネタバレ注意。イエスはベツレヘムで誕生する幼子、苦難のしもべ、救い主として来られるのではなく、勝利の王として戻られます！ これは私たちへの理解に非常に重要です。理由は、、、私の胸の内を吐き出すには、今がちょうどいい機会です。そうせねばならないからです。私たちが持っているイエスの絵。頼みますよ。それって、アメリカのイエスですよ。アメリカ版の。それが、イエスの描かれた絵や画像をこのスクリーンで決して見ない理由です。まず、あなたが本当にイエスの御姿を知っていたとしても、私たちは神がデザインされたイエスの御姿を知りません。もちろん、イエスの御姿がどのようなものであり得たかを描こうとする人々を止めることではありません。しかし、私たちが聖書から分かるのは、イエスについて目立つことは何もありません。あの夜、ユダがイエスを裏切り、園(ゲツセマネ)でイエスが捕まった時、十字架へ行かれるところで、イエスは、他の人たちと同じように見えました。ですからユダは、自分が裏切った救い主に口づけをして男たちに示さねばなりませんでした。

「あなたたちが私に支払った男を引き渡す。私が口づけをするのが、その人だ。」(マタイ 26 : 48 参

照)

「おお、それがイエスか。」イエスは、背が高くハンサムではなく、しかし、イエスはおそらく、非常にたくましかったでしょう。大工だったからです。これには問題があって、再度言わせてください。私の胸のうちを吐き出したいのです。この弱々しい姿の救世主の描写は、柔和で穏やかな、、、私はそれが誰か知りません。それは私のイエスではありません。ここにある聖書に描かれているイエスではありません。私のイエスは宮に入り、鞭を作り、両替人の金を散らし、台をひっくりかえしました。(ヨハネ 2：15 参照)

おお、私はその宮の壁の上のハエになって見たかったです。イエスは鞭で叩き、その音が地面に響き、、聖書の学びにすぐに戻りますからね。鞭で地面をバシバシ叩く！ はい、それが私のイエスです。まさに私の救い主です。台をひっくり返す。弱虫がそれをすると思いますか？ コストコの折りたたみテーブルを想像しないでください。— (笑) — せいぜい木、最悪でも石の台です。私のイエスはその台を爪楊枝のように投げ倒されました。それが私のイエスです。あなたはイエスを弱虫で、青い目だと思っていたはず。ごめんなさい。でも、真実は、イエスはユダヤ人です。衝撃でしょ。中東出身です。私は中東出身です。ですから、イエスはおそらく、、、そうそう・・・ — (会衆：爆笑) — 皆さん、私に言わせてくれると思いました。— (笑) — 失礼。想像しないわけにいきませんか？ 私が言いたいのは、イエスが苦難の救世主として初めて世に来られた時、イエスは痩せて弱々しくガリガリで青い目じゃなく、髪の毛についても疑問があります。イエスがナジル人の誓いを立てたという議論もありますけど、私たちは、大変長い髪の毛のイエスの描写を見ます。問題はそこで、ユダヤ教では、男性の長い髪は恥でした。また他に恥だったのは、「第一コリント人への手紙」7章の、女性の方々、ごめんなさい。「第一コリント人への手紙」7章の教えをオンラインで見返さないでください。残酷でした。厳しい教えの1つで、パウロは、女性は髪を短く切ってはいけないと語るからです。長くする必要があって、それは神の権威構造の覆いの象徴なのです。男性が長髪であることが恥であるように、女性が短髪であることも恥でした。ほとんど挑戦的です。信じられないかもしれませんが、これで向かう先があります。私たちが持つイエスについての記述は、私たち全員にとって大変衝撃的です。ここまで言われています。実際、大変興味深いのは、「イザヤ書」だったと思います。章と節は覚えていません。私は、色んなことを覚えていませんけど、預言者イザヤが説明するのが、私たちがサタンを見た時、私たちは仰天してぶっ飛ぶ。良い意味ではなく、私たちはサタンを見て、、、

「は～??これ??? これがすべての国々を欺いたの? こいつが悪魔? 赤タイツはどこ?」— (笑) — いいえ、本当です。角とピッチフォークはどこ? いいえ、彼はとんでもなく美しいのです。なんと美しい創造物! 見たこともない、、、彼の実際の姿に、私たちはほとんどたじろぎ、完全に衝撃を受けますでしょう。ひっくり返してみましょう。イエスを見た時の私たちの反応について、預言者イザヤが聖霊によって語るのをご存知ですね。私たちがイエスを見るのは、屠られた子羊。その全ての傷跡。私は皆さんを備えたいのです。ラッパが鳴り響き、空中で主とお会いする時、皆さんの誰もこうなってほしくありません。

「わお、私の牧師が言っていたのと全然違います。」むしろ、こう言われたいのです。「わお、あなた方はカルバリー・カネオへに通っていたんでしょ。衝撃を受けていないから。他の教会に通っていた人たちは、、、」話が逸れ過ぎましたね。でも要点はわかると思います。私はあなたのこれから起こることに備えたいだけです。屠られた子羊のようなイエスを見るからです。サタンから目をそらすのとは逆の理由で、目をそらさねばならないでしょう。サタンの美しさは目を見張るばかりです。しかし、救い主は、私たちは目をそらします。イエスを屠られた子羊として見るからです。私がおなたに準備してほしいのは、イエスは、あなたが持つ描写みたいな御姿ではありません。今、ヨハネはそれを持ち出すことで私たちを助けてくれます。これが私が向かうところです。念のためお伝えします。ヨハネはこれから、イエスの外見と、イエスの外見の背後にある象徴的意味を結びつける助けをしてくれます。

「ヨハネよ、わたしがどう見えるかを書いて、それを彼らに届け知らせなさい。そうすれば、わかるから。」ではありません。違います。「これがわたしの姿だと知らせただけでなく、その理由も知らせたいのです。なぜわたしの足は炉で精錬された真鍮なのか。」

先週の、なぜわたしの目は燃える炎のようなのか。(黙示録 1：14 参照)

今週は、その足は炉で精錬された光り輝く真鍮のようなのか。(黙示録 1：15 参照)

それだけでなく、これはもっと「わお！」があります。それが私が思いつく最高の言葉です。

「その声は大水のとどろきのようであった。」(黙示録 1 : 15 参照)

私が子供の頃、私は、、、おお、私がいくつだったか言えます。1974年にワシントン州スポケーンで万国博覧会が開催されたからです。私は1962年生まれです。幾つですか？12歳？ 助けてくれて大変ありがとう。それには愛を感じませんが。私は12歳、12歳です。スポケーン・フォールズと呼ばれる滝があって、そこが万博会場でした。彼らは準備していて、両親は私たちを連れてその様子を見に行きました。ワシントン州スポケーンという小さな古い町が1974年に万博会場になる予定だったからです。私たちは滝のそばまで行きました。私は12歳です。「俺は12歳で、男の中の男だぞ。」水音は特に大きく、怖かったです。滝の音だけで。スポケーンの滝はこれくらいです。(ちっちゃい) ナイアガラの滝は、、、(JD: 画面から見えなくなる) それくらいデカイです。その音を想像してみてください。力強い水が勢よく流れ落ちる、耳をつんざくような音。それがイエスの声でした。ちょっと待って。静かな小さな御声だと思いました。今は違います。そうじゃない。今やなぜ滝のような大水のとどろきのような音なのか？ あの雷のような、力強い、恐ろしい水の音なのか？ イエスは私たちに、ご自分が私たちの力の源であることを知ってほしいと願っておられるからです。『イエスは私に力を与えてくださる。』

先週話したように、イエスが力の源です。このすべてがイエスの御力を語ります。聞いてください。イエスは、全能です。それはデカイ言葉です。まるで私が墓地 (cemetery)、いや、神学校 (seminary) に行ったように聞こえます。私は行ってません。私は神学校ではなく、墓地に行ったことはあります。私は神学校で教えました、神学校には行ったことがありません。それいかが？ 神はユーモアのセンスがあられます。オムニポテント/omnipotent は、オムニ：すべて、ポテント：力/全て強力、を意味します。もう1つあります。これはさらにカッコいい響きです。神はオムニシエント/omniscient です。わお。改めて、オムニシエントとは何か？ オムニ+サイエンス：すべてを知っていること。全知。

3つ目です。神はオムニプレゼント/omnipresent です。これは役に立ちます。神はすべてに存在 (偏在) されるからです。全能/omnipotent、全知/omniscient、遍在/omnipresent. その延長線上で、イエスは全能で、その御力によって/通して、私を可能にし、御力を与えてくださいます。特に、力のない人々のために。無力や無援を感じたことがありますか？ おお、頼みますよ。何回聞いたり言ったりしましたか？

「神は自らを助ける者を助けられる。」私がまだ非常に若い信者だった頃、私はまだキリストにある赤ちゃんでした。初めて聖書を最後まで読んでいませんでした。私の従兄弟にイエスを分かち合おうとして、

新米信者の私の神学はここにありました。：「イエスは現実だよ。イエスは間違いなく現実。イエスは本当に間違いなく現実。君はイエスが必要だよ。イエスは本当に間違いなく現実だから。」それが、まだ新米信者としての私の最善でした。私は未熟でした。私は試みました。従兄弟が大好きですから、私は彼に伝えようとしています。

「イエスは現実なんだ。今、僕はイエスを知っている。イエスが僕を救ってくださった。僕は生まれ変わった。君にも生まれ変わってほしい。僕は君にイエスを知ってほしい。」彼は私を見て、こう言いました。

「神は自ら助ける者を助ける。」彼は聖句を引用しているつもりでした。それは聖書にありません。「第一肉人の手紙」1章かもしれませんが、この聖書には書かれていません。ー (笑) ー

おお、人々が聖書にあると思っている言葉がもうひとつあります。「清潔は敬神に次ぐ美德。」まだ知らないなら、言います。聖書にはありませんから、探さないでください。ポイントは何か？ 私のポイントは、私たちは学ぶ前に学ぶ必要がないことがあること。それは、私たちとイエスとの間に立ちはだかる妨げの証拠です。ヨハネはそれを解決する助けをしています。これが、イエスが誰であり、イエスがイエスである理由だからです。これがイエスが私に知るのを望んでおられることだからです。：「私に御力を与えてくださる。」次に進む前に、もうひとつだけ胸の打ちを明かしてもいいですか？ それは「可能」という言葉です。私たちが生きている現代で使われる文脈で理解していますか？ 「あなたは可能にする人だ！」私は考えます。ふむ、、、いつも否定的な文脈で語られるからです。誰かがしようとしないうこと、あるいはやめようとしていることを私は可能にしている、あなたはそれを可能にし続けます。あなたは可能にする人です。ふむ...

私は可能にしてしまうの？ ちょっと待って。神が可能にするお方です。いや、神の召しは神が可能にされること。そう、理由は、神の命令というのは、ヨハネがこう言います。「神の命令は重荷とはなりません。」
(I ヨハネ 5 : 3 参照)

神は私たちを可能にせずに、私たちに何かを命じることがはられません。さもなければ、神は私たちの不従順に加担することになります。皆さん、それは分かりますね？ 私たちは祈る時、「神よ、助けてください。」と何度祈りますか？ 神に何を求めているのかわかりますか？ 神よ、あなたが助け手として必要です。私を可能にしてください。助けてください。神はこのように、

「良い知らせだ。わたしは可能にする者だ。わたしがあなたを可能にします。わたしはできるからです。わたしは力があるからです。わたしがあなたに命じ、召したことを行えるように、あなたを可能にし、力づけるすべての力がわたしにはあります。」

この 16 節にある 2 つ目に入る時、私はあなたを混乱させます。イエスの御名によって。「力/パワー」と「強さ」を区別するからです。お付き合いください。イエスは、私に力を与えるだけでなく、私を強くしてください。その意味は、こうです。ヨハネが記述しているこの鋭い両刃の剣は、「ヘブル人への手紙」に書かれているのとは違います。すぐに、もうちょっとしたら分かりますけど、新約聖書の原語（ギリシャ語）では別の言葉です。ギリシャ語の *rhomphaia*（ロンパイア）です。どれくらい役に立ちましたか？ どういう意味か？ おお、これは至近距離での戦いで使う精密な小刀ではありませんでした。いいえ、これは重く、大きく、強く、重い、両刃の剣です。さやからこれを取り出した時、消灯、試合終了。これには手を出さない方がいいです。それが両刃の剣です。「OK、派手でおしゃれな牧師さん、「力/パワー」と「強さ」は同義語ではありませんか？」違います。これが単純化しすぎたくありませんけど、「力/パワー」と「強さ」には違いがあり、区別することが重要です。「強さ」は、「力、エネルギー」を測ります。「力/パワー」は、「力、エネルギー」を生み出します。もう一度言わせてください。「強さ」は、「力」を測る目安です。しかし、「力/パワー」は源で「力」を生み出します。余計に分かりにくいです？ 理解ください。イエスは全能で、同時に、イエスは私の「強さ」でもあられる。

2. イエスは私を強くする。

イエスは「強さ」と「力」両方の源です。そして、これ、その象徴、「鍵」は、イエスの口から出ます。イエスの口からは何が出るのか？ イエスのことば、神の御言葉です。それが鋭い両刃の剣です。ですから、それが強さが生まれるところです。こう言われます。

「神の御言葉なしの 1 週間(**week**)、その人を弱く(**weak**)する。」おお、スペルは言わせないでください。

ー (笑) ー W-E-E-K (1 週間) 1 週間は 7 日です。長い 1 週間 (**week**) でした。でも、私は弱く (**weak**) ありません。ー (笑) ー それが「強さ」の源です。これは「ヘブル人への手紙」4 章 12 節です。この節をよくご存知ですね。私は大好きです。これを読む時、新しいレンズ、祭壇の新たな火を通して、これを見てみてください。何度も何度も聖句を読み返すと、どうなります？ その「力/パワー」にほとんど鈍感になります。神の御言葉の「強さ」と「力/パワー」について、この力強い聖句をもう一度見てみましょう。

ーヘブル 4 : 12ー

神のことばは生きていて、力があり、(ここでは )

) 両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。

それは1つの強い剣です。強力な両刃の剣です。あなたが言うのは、「それが神の御言葉だと？」はい。おお、ちなみに、神の御言葉は、イエス・キリストというお方が具現化されています。

—ヨハネ 1：1—

初めにことばがあった。ことばは神とともにあった。ことばは神であった。

エホバの証人はそれを書き直さねばなりませんでした。以前の実話を話してもいいですか？ しばらく共有していません。新しい人たちがいます。彼らに配慮してね。聖書勉強会をしていて、私は牧師になる前、職場で聖書勉強会をしていました。いろいろな人が参加していました。カントリー・クラブや自動車販売店でもしました。信じられないかもしれませんが、自動車ディーラーたちが救われました。ショックなのは分かりますよ。そして、彼らが許すところならどこでも、私はそこで聖書勉強会をしました。彼らが部屋を与えてくれるなら、私はこう言いました。「聖書勉強会をしてもいいですか？」彼らはこう言いました。「もちろん。」私は、「よし。」で、私はビジネス・コミュニティで聖書勉強会をしていました。自分の会社を経営していたので、ビジネスマンに手を差し伸べたかったのです。私は聖書を解説的に教え始めました。私に髪があった何年も前のことです。しかし、とにかく、、、一番奇妙だったのは、いえ、奇妙なことではありません。神が完璧に計画されたからです。実は、特にその、ある火曜の朝の聖書勉強会で「ヨハネの福音書1章」の学びを計画していました。聖書勉強会に参加している1人が友人を連れてきました。私は彼に気づきました。後ろに座っていました。ボディランゲージを見ればわかります。これをするとき、私は誰も見ません。あなたがこうするなら、私たちはあなたを愛しています。神の祝福がありますように。これが彼のボディランゲージでした。(腕を組んで、踏ん返り返る。)ですから、私は初っ端からわかりました。まず、見ないようにします。でも、それは難しいですね？ 彼らを見ないように。(チラッと見ては、目をそらす)

— (笑) — 見ないように。心理的なことです。「この店先のこの穴を覗かないでください。」と書いてある時、人々はブロックを1周して並びます。「なぜダメ？」と穴を覗きます。ですから、彼を見ないようにします。この男には以前会ったことがある。同じタイプです。こんな感じで、

「よし、私はここだ。この男が何をできるか見てやる。」神が私の証人であられるように、初っ端から、、、

皆さん、比喩を許してください。必死に/全力で、(直訳：すべての銃が鳴り響く。)
「ヨハネの福音書」1章、「初めに、、、」この男がエホバの証人だとは知りませんでした。聖なる大胆さがありました。私は一語一句朗読し、聖霊の御力と共に語りました。「初めに!!!」— (笑) — この男は急いで椅子から立ち上がり、立ち去りました。彼を連れてきた、聖書勉強会に出席の友人は残りました。彼は私を見ようとしませんでした。彼はこんな感じで、「申し訳ない。」その後、彼は私のところに来て、こう言いました。「JD、、、」当時、私は JD 牧師ではありませんでした。私はただの自動車ディーラーの JD でした。彼はこう言いました。

「本当に申し訳ない。この男を主のもとに連れて行こうと、聖書勉強会に招いたんだ。彼は最終的に同意して、彼を連れてくる日に、君が『ヨハネの福音書1章』に入るとは。彼はエホバの証人だ。」

それは主でした。それは主でした。実話です。そうこうしているうちに、、、絶好調ですね。ウォルター・マーティン博士の比喩なき名著「カルトの王国」を覚えていますか？ OK。彼はエホバの証人の本部に侵入します。大まかなところだけ説明します。彼はフロントデスクに行った時のことをこう話します。これは彼の本が出版される前の話です。本が出版された時点で、すでに認識されるから。ですから、彼は「カルトの王国」が出版される前にエホバの証人の本部に行きたかったのです。「カルトの王国」は、まず、とにかく膨大な著作です。「カルトの王国」は、エホバの証人、モルモン教、その他諸々全てです。彼は侵入し、フロントデスクに男がいて、彼は、こう言いました。「私が神の御言葉から、イエスが神であることを証明できるなら、、、」エホバの証人はそれを否定するからです。モルモン教も同様、彼らは好きなようにどこまでも行きます。イエスは救い主であり、主であり、贖い主であり、神の子です。しかし(彼らには)、イエスは神ではありません。エホバの証人は、この点で、モルモン教よりも少し過激です。彼は侵入しこう言います。

「私が聖書からイエスが神であることを証明できるとしたら、あなたは、エホバの証人をカルトと見なしま

すか？」これは注目を集め、会話のきっかけになります。受付の男はこのように、「イエスは神ではありません。」彼はこう言いました。「あなたは私の質問に答えていません。イエスが神であることを聖書から証明できたら、あなたは信じますか？」彼は答えます。「私たちはエホバの証人です。」彼は言います。「いえ、いえ、いえ、いえ、そうじゃなくて、、、」彼らは何回か繰り返し、そして最後にウォルター・マーティンは、、、私は彼のビデオを見ました。この人物と知り合いになりたかったです。彼は受付カウンターをこう叩き始めました。聖句を引用します。「イエスは神だ。イエスは神だ。」そして、彼らは彼を放り出しました。彼はこう言いました。「私は試みました。」それから何年も経ちました。この男が、ウォルター・マーティン博士のセッションに現れました。その後、彼はウォルター・マーティン博士のところにやってきて、こう言いました。「あなたが、エホバの証人の本部に来たことを覚えていますか？『イエスは神だ！イエスは神だ！』とすべての聖句を引用しながら受付カウンターを叩きましたね？ 私はあなたが大嫌いでしたけど、そのことを考えずにはいられませんでした。それで聖書を読んでみたら、イエスは神であることがわかりました。今、私はカルトであるエホバの証人を離れ、私は今、イエス・キリストを信じる新生したクリスチャンです。」

決して、、、これは補足ですけど、決して、決して、決して、決してあきらめないでください。神の御言葉は空しく帰ることはない。(イザヤ 55：11参照)

それは、意図された目的を果たします。それは鋭い両刃の剣だからです。外科手術のように精密です。ここからが重要です。神の御言葉にとどまり、神の御言葉を使う時、「エペソ人への手紙」6章にある「霊的な武具」の中で唯一の攻撃的武器で、御言葉は切り込みます。聖霊は聖なる御言葉を通して、その心の中にあるものを正確に知り、その思いを見分けます。イエスが人の心を読むことができたのをご存知ですか？ それどうですか？ 福音書のいくつかの記述を見て、彼らはこう考えました。イエスはこんなふうに、「・・・」イエスは分かるからです。イエスは彼らの考えを見抜かれました。イエスは彼らの心を読むことができ、彼らにお答えになりました。彼らがどんな顔をしたのか見たいです。「どうしてわかったんですか？」「わたしは神の化身だから。」イエスは神！！「ですから、もちろん、わたしは知っています。」神の御言葉は、神の御言葉にさせていただく。神はあなたの助けを必要とされません。信じてください。私は試しました。「神よ、私にこれを任せてください。お手伝いします。」ペテロが剣でマルコスの耳を切り落とすように。イエスはこのように、「君か、癒そう。」(マルコスの耳を元に戻される)天国でこのマルコスに会えると信じます。想像してみてください。ペテロが彼の耳を切り落とします。「ああ〜！」イエスが癒されます。「おお〜！」私がマルコスなら救われるでしょう。とにかく、イエスはこのように、「ペテロよ、いいか、これは霊的戦いです。あなたは霊的な戦いを肉で肉的な武器で戦おうとしています。」

パウロはこう言います。私たちの戦いの武器は肉のものではありません。(II コリント 10：4参照)

霊的です。これは霊的です。神を手伝おうとしないでください。「あの〜、神よ、、、」息子たちがまだ小さかった頃、私は娘にこれはさせませんでした。彼女は運転免許を取ったばかりです。私は携挙が先に起こることを望んでいたのに。息子たちがまだ小さかった頃、私は彼らを膝の上に乗せ、ハンドルを握らせました。「わお! ババ、僕〜運転してる！」私は、「イエスよ、早く来てください。実際に彼らが運転する前に。」それも起こりませんでした。彼らは手伝いたいのです。私はプロジェクトがあり、彼らはそれを手伝いたがります。「ババ、いい? いい？」彼らは本当に愛らしいんです。ノー/ダメとは言えません。しかし、彼らがすることはより大きな問題を引き起こします。彼らに手伝わせなければできたはずなのに、時間がかかります。私たちは神にとって、そのようだと思います。「神よ、私にハンドルを握らせてください。」神はこのように、「おお、あなたが大変かわいい。わかった。どうとでも。」「神よ、私に手伝わせください。」私たちは小さなおもちゃの工具箱を持っていきます。神は巨大な鋭い両刃の剣を持ちこう仰います。「OK。終わったら、知らせなさい。君の小さなおもちゃの剣で、、、」(JD：小さな剣を振り回すふり。)
「終わりましたか?」「はい。」「OK。今、神になってもいいですか?」「はい。」「わたしの邪魔をしないでくれますか?」「はい。」そして、神はそれをなさいます。あなたはこのように、「わお。神よ、本当にかっこいいです。」神はこのように、「わかってます。わたしは神だから。」「どうやってそれをなさるのですか?」「わたしは心の中を見極めることができるからです。」そう、人は外見しか見ませんが、神は心をご存知です。(I サムエル 16：7参照)

今みたいに、私はあなたの外見を全て見ています。皆さん、大変素敵です。しかし、神はあなたの心を見、

心を知り、その思いと心の意図を見抜かれます。生理学的には、心臓と腹の中にも小さな脳があるのをご存知ですか？ このことわざをご存知ですね。「勘を信じろ。」（直訳：あなたの腸に従え。）それには何かあります。「ピリピ人への手紙」のパウロはどうですか？ 脱線しましたが、戻りますので、心配しないでください。「ピリピ人への手紙」4章6節から8節でパウロはこう言います。

何も思い煩わないで、あらゆる場合に、感謝をもって祈りを捧げ、願いなさい。（ピリピ 4：6参照）

OK。大変興味深いです。「すべての理解を超えた神の平安が、あなたがたの心と思いをキリスト・イエスにあって守ってくれます。」（ピリピ 4：7）

非常に興味深いのはここです。パウロはこう言います。「その平安は人知を超越する。」言い換えれば、それは頭を越え、まっすぐ心に行く。「箴言」のこの一節はいかがですか？「彼は心のうちでは勘定ずくだから。」（箴言 23：7参照）

私の心のうちで？ はい。「彼はその頭のうちでは勘定ずくだから」と言うべきではないですか？ 違います。「彼は心のうちでは勘定ずくだから。」（箴言 23：7参照）

混乱させましたか？ まだ混乱してないなら、もう2~3ありますよ。両刃の剣に戻ります。これは強いです。この剣は外科的に切れるほど強く、魂と霊を見分け、魂は感情、御霊は霊的、関節と骨髄、それは思いと心の意図を見分けます。私たちは聖書を調べると言いますが、実は聖書があなたを調べます。

「私は、、、私は御言葉に入ります。」その御言葉が、あなたに入り込みます。そうなる時、、、そして、それが正しく分かります。息子が、、、最後の1つ、実際にここで終わります。私の息子が、、、おお、長男が、生後1年半も経たない頃、ヘルニアになりました。1歳半でヘルニアになるなんて、どういうことだ？ 彼はまだ重量挙げ選手ではありませんでした。外来手術を受けさせねばなりません。医師、外科医が鋭利な器具で、息子の腹部を切り裂くなんて信じられますか？ あなたはどんな親ですか？ 愛に溢れる親です。この問題が大きくなる前に、外科的に解決せねばなりません。外科医のように、神は偉大な医師です。第一礼拝でそれについて話しました。神は、私たちの人生から、私たちのいのちを犠牲にしかねないものを取り除き、切り取ってくださいます。それがあなたを破壊する前に、それを取り除く必要があります。それが神の御言葉がすることです。それがどれほど神の御言葉は強く、力強く、生きているかです。これは多くの人が好きな人生の聖句です。

娘が小さかった頃、一緒に聖書の時間を過ごしました。「ピリピ人への手紙」4章13節は、誰もが暗記して、紙に、壁に、冷蔵庫に貼ってあります。

私を強くしてくださるキリスト（方）によって、私はどんなことでもできるのです。（ピリピ 4：13参照）

「ゼカリヤ書」4章6節を、これに付け加えたいのです。あまり知られておらず、引用されることもありません。先週、これを参照しました。ゼカリヤが与えられたこの幻は、常に、無尽蔵に、永遠に供給される油を源としていたからです。彼（御使い）はゼカリヤに言います。

—ゼカリヤ 4：6—

「これは、（注目➡）

) ゼルバベルへの主のことばだ。『権力（強さ、意志）によらず、能力（自分の力や強さ）によらず、わたしの霊によって』

と万軍の主は言われる。3つ目に進む前に、もう1つだけ言わせてください。思うのですが、今日、家に帰ったら、私自身に話しています。今日、家に帰ったら、自分の人生で自分の強さに頼っている領域を見る目を神が私に与えてくださるよう祈ります。何年も前、私はカンファレンスである牧師の教えのもとに座っていました。その牧師のセッションで、彼が言ったことが、私に向けられたものとわかります。何を言っているかわかりますね？誰もそこにいる必要はありませんでした。それは私のためでした。みんなにこう言われました。「どうしてわかったんですか？」私はこんな感じです。「名前は何でしたか？」「ごめんなさい。わかりません。」「誰かが電話しましたか？」聖霊がそうされたようです。聖霊はあなたが何を聞く必要があるかを正確に知っておられたからです。それがあの日の私でした。まさに私が必要としていたことでした。後で私がそれを話したので、彼は全然知りませんでした。私はこんなふうに、「話があります。あなたが言ったことですが、私のことを考えてですか？」彼は、「いいえ。でも、今はそうです。」彼はこう言いました。これは彼を通して主でした。彼はこう言いました。「神が用いられるには強すぎる人がいます。」彼は絶対私を見ていました。私は椅子の下にもぐり込みます。「それは私でした！私は神にとって強すぎます。」言い換えれば、神はJDをご覧になりこう仰います。「わたしはできない。わたしはそうしたいが、できない。彼はまだ自分の力、自分の肉のエネルギーでクリスチャン生活を送ろうとしているから。『権力によらず、能力によらず、わたしの霊によって』(ゼカリヤ 4：6参照)

彼がわたしに譲り、わたしにゆだねるなら、彼の代わりに彼のために、わたしの力でこれを行うことができる。」私を強くしてくださるキリストによって、キリストの御霊によって、私はどんなことでもできるからです。(ピリピ 4：13参照)

最後の例です。次に進みます。ご存知、水の力。あなたはビーチからカヌーを海に入れようとして、奮闘して、全身全霊の力を使います。ここに波が来て、すると楽々と小指を使って押すだけです。なぜ？水の力は聖霊の型だからです。私たちの生活で、その状況は何ですか？私たちは家に帰り、、、これを持ち帰って、また見直すことができるかもしれません。ここで私は努力し、戦い、議論し、自分の力で解決しようとするからです。主はずっとこのように、(JD：腕を振る)

「もしも～し！終わったらわたしに知らせなさい。わたしがこれを引き受けました。」「いいえ、私たちが、、、」私は、言葉を使います。あなたにとって無関係なのは分かっています。あなたは私より霊的ですから。頑固、強情、うなじが固い、強すぎる、意志が強い、など。意志の強い人たちを知っていますか？誰かがこう言った時、「どれかあなたに当てはまります。」「何？」彼らは息子を見てこう言いました。「意志の強いお子さんですね。」私たちはこんなふうに、「どうも。」—(笑)—

神の祝福がありますように。教会からの帰り道、あなたの車のフロントガラスに鳥が落ちてくることを願います。イエスの御名によって。頼みますよ。やめてください。わかるでしょ。皆さんもそうしますって。角を曲がって、3つ目、これは大変勇気付けられます。

3. イエスは私を慰めてくださる。

私はこの17節を忘れません。ヨハネは、、、想像できますか？その目は燃える炎、その声は大水(滝)のとどろき、その足は炉で精錬された、光輝く真鍮？近寄ることさえできません。シャデラク、メシャク、アベデ・ネゴに聞いてください。実際は、あの炉に3人を投げ込み死んだ者たちに聞いてください。しかし、つまり、、、同じことをしませんか？またそれ以上では？これがイエスに出会ったすべての人の反応です。

ペテロは、、、「私から離れてください。私は罪深い人間ですから。」(ルカ 5：8参照)

イザヤは、、、言いました。「燃える炭で、私の唇を清めてください。私はその衣の栄光を見ました。その裾は主の栄光で神殿に満ちています。(イザヤ 6：1～7参照)

私は離れねばなりませんでした。罪深い人間ですから、見ることはできませんでした。」聖書の至るところで、人々が本物のイエスと出会った時、これが彼らの反応でした。彼らはただ気絶します。恐れおののき震えるのです。確かに聖なる畏れです。ヨハネは自分の反応を次のように語ります。

彼は死んだ者のように、地に倒れ込み、動かなくなりました。(黙示録 1 : 17 参照)

ヨハネは言葉を失います。動くことも話すこともできませんでした。これは、イエス・キリストというお方がヨハネに現された栄光に対する反応でした。注目してほしいのはここです。ヨハネの反応に対してのイエスの応答です。このように考える人への臨床名があることは知っていますが、私は、イエスがヨハネに、このように言われるのを完全に期待しました。「ヨハネよ、起きなさい。よしなさい。」これも私が問題にするもう1つの言葉です。胸のつかえを吐き出します。「しっかりしなさい、かわい子ちゃん。」おお、皆さんありますか？ 何人もの人にそう言われたことがあります。私は泣き虫だから。私はしっかりせねばなりません。いや、これは本当に感情的なことです。私は感情的で、メニューを見て泣くこともあります。メニューがないと泣くこともあります。ここでヨハネは、完全に気絶です。威厳に満ちた主の栄光の前にひれ伏しました。イエスはどうか応えられたか？ イエスはヨハネの上に右手を置いて言われました。

(黙示録 1 : 17 参照)

「恐ることはない。わたしだ。」おそらく、あえて言いますと、もしかすると、ここで数字を計算しようとするときには気をつけねばなりません。イエスの復活から 60 年くらいではないかと。議論の目的で、仮に 50 年としましょう。イエスは、、、思い出してください。ヨハネはイエスが「母を頼む。」と仰ったその人物です。ヨハネはもちろん、自分の福音書の記述の中で常に注意深く指摘するのは、自分は、イエスに愛された弟子であること。でしょ？ これは同じヨハネです。西暦 95 年まで早送りして、今、ヨハネは救い主に再会します。非常に異なります。イエスが苦難の救い主としてここにおられた時、福音書に語られている通り、ヨハネは頭をイエスの胸に置く代わりに、ヨハネは身を投げ出して、倒れ込んだのだとは思いません。崩れ落ちたのだと思います。

「私は死んだ者のように、その足もとに倒れ込んだ。」(黙示録 1 : 17 参照)

今日ここにいる人、あるいは、オンラインで見ている人に言いたいのは、それは、、、あなたはこの御言葉が必要です。あなたが知る必要があるのは、神の御手があなたの上にあること。主は決してあなたを見離したり、見捨てたりされません。聖書の中でイエスが軽蔑や嫌悪の言葉を口にした箇所は、弟子たちに対してでさえ一箇所もないことをご存知ですね。主がこう仰った時でさえ、「信仰の薄い者よ。」(マタイ 14 : 31 参照) — (笑) — いえ、それは思いやりでした。私は救世主の口調を想像します。

「あなたがた、あなたがたの神は大変大きいのに、なぜあなたがたの信仰はそんなに小さいのですか？」

私たちはイエスが泣かれたことを知っています。それは私の話で、それにこだわっています。イエスは泣かれました。イエスは感情があられました。私が問題にするのは、今日は、もう1つ、胸の内を吐き出します。私はこれらの描写に異議を唱えます。もちろん、いつもそうしてきました。

先日、息子が言いました。新しい映画についてで、「神と交わした約束: モーセの物語」息子はすでに知っていて、こう言いました。「観ないのはわかっているよ。」私はこう言いました。「いや、観れないんだ。観れたらいいんだけど、観れない。」最初のオープニングシーンだけで、私はこう言うでしょう。「ノー/ダメ！」違う！！ イエスについての全部の映画で、まず第一に、イエスは金髪で青い目ではありません。そこで意味がわかりません。イエスの古い映画なんて、こんなふうです。

「私について来なさい。人間をとる漁師にしてあげよう。」(JD : ロボットのように言う) 弟子たちはロボットのように: 「はい。従います。」 — (笑) — 再度、このような考え方をする人には臨床名がありますが、それは私のイエスではありません。イエスは情熱、感情、力があられました。しかし、主は弟子たちを慰めたように、ヨハネを慰められました。ペテロについて考えてください。何度イエスはペテロを正されましたか？ イエスは正されました。それはいつも愛によってでした。しかし、どれほどイエスはこのようなことを、、、私はイエスを描写して、こう言います。「ペテロよ、君、こっちに来なさい。大丈夫だ。(イエスは腕をペテロに回し) 君は何度も同じことをするから、それに取り組もう。ちょっと落ち着かないか？」

留意ください。弟子たちを選び、ご自分に従うように召される前、イエスは徹夜で断食し、御父に祈られました。弟子たちがどのような人物であったかの学びに入ると、まず、彼らは当時大変苦しかったのです。ヨハネもその1人です。想像できますか？ 彼らは生活、漁船、仕事を捨てて、イエスに従いました。わお。私

はいつも、イエスがそのような慰めと共に語られる姿を想像します。

イエスの御声：大水（滝）のとどろき。（黙示録 1：15 参照）

しかし、また、疲れた魂を癒す、慰めの香油。ヨハネよ、恐れることはない。（黙示録 1：17 参照）

この御言葉を聖書で読むときはいつも、その御言葉を語られる人が恐れていたからです。それが意味深なのは分かります。なぜイエスは、ヨハネに、ヨハネが恐れていなかったら、「恐れることはない」と仰いますか？ いいえ、ヨハネは恐れていました。ですから、イエスは何をされるのか？ イエスはヨハネを落ち着かせ、静め、慰め、思い出させます。イエスが誰なのか、なぜヨハネが何も恐れる必要がないかを。それが今日ここにいるあなたのためかもしれません。恐れることは何もありません。イエスはあなたに御手を置かれます。あなたはその感触、イエスの御声を知っています。そしてイエスはあなたに仰います。

「恐れることはない。わたしに任せなさい。わたしが引き受ける。わたしだ。わたしだ。わたしだ。イエスだ。わたしはあなたを愛している。恐れることはない。」

最後の1つ、18節です。これは、良い言い方が見つかりませんが、これで決まり。

4. イエスは私にとっていのちである。

イエスは私を力づけ、可能にし、強くし、慰めてくださる。でも、イエスは私のいのち。イエスは私のためのいのち。再度、私たちはこう言います。お決まりの決まり文句のような言い方で、「イエスは生きておられる。」なぜイエスが生きておられるか知っていますか？ あなたのためです。わかっています。あなたのために。私のためにも。それが理由です。なぜイエスは死からよみがえられたのか？ あなたのために、私のために、死に打ち勝つためです。それが理由です。イエスが死なれたので、私は生きることができます。イエスは私のいのち、特定の道、特定の真理、特定のいのちです。イエスは死に打ち勝ち、持っておられるのは、これは本当にかっこいいです。イエスは鍵を持っている。（黙示録 1：18 参照）

人々がどれほど重要だと感じるか。彼らが.....を持っている時。「あなたは鍵を持っていますか？」「はい、ここにあります。」あなたは鍵を取り出します。「わお。あなたは重要人物に違いない。」「はい、私は鍵を持っています。」イエスは死とよみの鍵を持っている。（黙示録 1：18 参照）

あなたを入れてくださいます。しかし、イエスがあなたを永遠のいのちに入れる唯一の方法は、イエスの死に関係します。（イエスが）死を打ち負かされたので、あなたは永遠のいのちを得られます。当然のこののしっかり把握です。こう言えば、少しは様相が変わります。また、これは私たちが神の御言葉の基礎的で基本的な真理に慣れてしまっているからです。私たちこのように、「はい、はい、はい。知ってる。知ってる。知ってる。」でも、そう急がずに。それについて考えてみてください。イエスが私のために死んでくださった？ はい。なぜ？ イエスはあなたを愛されているからです。人が人（自分の友）のためにいのちを捨てること、これよりも大きな愛はだれも持っていません。（ヨハネ 15：13 参照）

私は妻を愛しています。私は妻のために死にます。それがどれほど妻を愛しているかです。私の子供たち。私は子供たちのために死にます。それがどれほど子供たちを愛しているかです。神の私たちへの愛は、どれほど大きいでしょうか？ 私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれました。（ローマ 5：8 参照）私はそれをしないとします。あなたもしませんね。しかし、イエスは死なれました。なぜ？ 理由は、

「神は、実に、そのひとり子（イエス）をお与えになったほどに世を愛された。それは御子（イエス）を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」（ヨハネ 3：16）

もう1つ、今日あなたが持ち帰ることを祈ります。私も同様に。イエスが私のために持っておられるいのちと愛に他なりません。それがすべての理由でした。それについて考えてみてください。ちょっと考えてみてください。イエスがなされたことをイエスがなされた他の理由は？ イエスがゲツセマネで血の汗を流された時、生理学的に想像を絶する、考えられないようなストレスのせいです。生理学的に、血の汗を流しているなら、それは極度のストレスと無理強いです。それがイエスが経験されたことです。十字架にまさに向かうとされている。イエスは御父に祈られました。

「できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。」(マタイ 26 : 39 参照)

そして、私たち一人ひとりが口にすべき言葉を仰いました。

「しかし、わたしが望むようにはなく、あなたが望まれるままに、なさってください。」(マタイ 26 : 39 参照)

翻訳：神よ、これが唯一の道なら、わたしはここにいます。それが唯一の道です。彼らが生きるために、あなたは死ななければなりません。それがその理由です。イエスはその必要はあられませんでした。自らの意志で、そして私たちに対する限りないアガペーの愛ゆえに、イエスはあの十字架にかかられました。何がイエスを十字架にかけたのか？ 愛です。ユダヤ人ではありません。一般論に反して。いいえ、愛がイエスを十字架にかけました。誰のための愛ですか？ あなたと私への。

OK。締めくくりましょう。ご忍耐ありがとうございます。第一礼拝「聖書預言・アップデート」におられなかった人たちのために、1ヶ月以上前の3月17日、カルバリーチャペルからの離脱を取締役会で決定したことをお知らせします。理由としてこのことは役員、統率・指導者達、スタッフによって、4年近く捧げられた多くの涙と祈りと断食で溢れています。その最大の理由は、今もですが、奇妙な変化でした。今日の「聖書預言・アップデート」で話したように、2020年から始まった、コロナと、いわゆるワクチンに依拠します。その結果、私たちが同意のもと、もはや共に歩めなくなったという胸を引き裂かれる現実でした。

この理由のため、私たちはすでに建物正面の外壁看板を撤去しました。それは3週間ほど前です。何が変わるのか？ という質問に対して、私たちの名前以外、全く何も変わりません。敬意を表して、シンプルに「カルバリー・カネオへ」にします。留意ください。私たちはこれからも、シンプルに聖書を書ごと章ごと節ごとに教えることに全力を尽くし、それを続けていきます。加えて、私たちは聖書預言を教えることを最も強く駆り立てられています。これにおいて、拍手どうぞ。いいですよ。一拍手喝采ー

そうしてほしいと思っていました。第一礼拝はそうでしたから。言ってみただけ。しかし、これが鍵です。これは大変重要です。基本的にはこれが行き着くことだからです。私は決して屈しません。決してためらいません。決して抑えたり、和らげたり、引っ込んだりしません。実際、どちらかといえば、からかっているんですか？ 今、世界で何が起きていますか？「抑えなさい。」「いいえ！音量を上げます。」一拍手喝采ー

私たちは、この終わりの時に聖書預言を教えることに尽力します。イエスの御名によって、できる限り多くの人に、できる限り早く、イエスを人々に、人々をイエスのもとに届けるために。

カポノ、上がってきてください。皆さん、ご起立ください。締めくくります。

おお～、、、お父様、ありがとうございます。感謝します。私たちは、何にも誰にも従わず、イエスよ、私たちはあなたに従います。私を含め、ここにいる私たちは、イエスよ、あなたとあなたの御言葉以外の他の理由でここにいません。ですから、主よ、ありがとうございます。あなたがヨハネに与えられたこの描写、この幻、この啓示に感謝します。あなたが誰で、どのようなお方で、私たちのために何をしようとしておられるのか、何をされたのか、これから続けてされることに。あなたは祝福の神、慰めの神、御力を与える神でられます。あなたは神でられます。あなたは神でられます。あなたは人になって来られ、私たちの1人となられました。私たちへの愛ゆえに。イエスよ、どうやってあなたに感謝できるでしょうか？ 私たちの唯一の慰めは、永遠で、あなたに感謝するだけでなく、あなたを賛美し、礼拝できることです。ふさわしい、ふさわしい、ふさわしい、屠られた子羊。(黙示録 5 : 12 参照)

イエスよ、ありがとうございます。私たちはあなたを大変愛しています。ラッパが鳴り、あなたと対面する日が待ちきれません。おお～、主イエスよ、早く来ててください。マラナタ！ イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師 カルバリー・カネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7